2023 年 9 月 27 日
New World Lab Pte. Ltd.
Startale Labs Japan
株式会社みずほ銀行
株式会社 Blue Lab

熊本県における「ＮＦＴ・メタバース を活用した球磨焼酎のブランド力向上」に向けた取組みについて

COSMIZE を運営する New World Lab Pte. Ltd.（共同創業者：宋 知勲、以下：COSMIZE）、Startale Labs の日本子会社である株式会社 Startale Labs Japan（代表取締役 CEO：海老島 幹人、以下：Startale Labs Japan）、株式会社みずほ銀行（取締役頭取：加藤 勝彦、以下：みずほ銀行）、株式会社 Blue Lab（代表取締役社長：梅宮 真、以下：Blue Lab）は、熊本県が公募した「令和 5 年度 web3 等先端技術を活用した DX 実証事業」に採択され、「ＮＦＴ・メタバースを活用した球磨焼酎※1 のブランド力向上」を推進していきます。

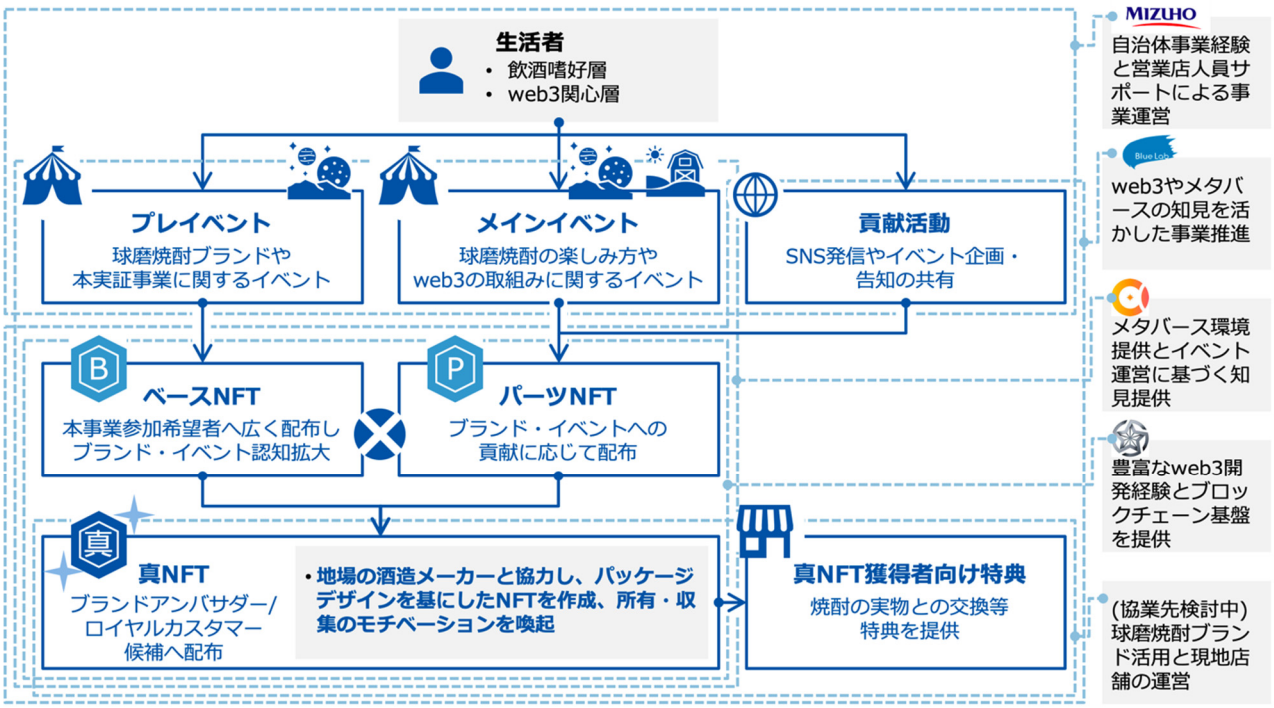
■背景

熊本県では令和 4 年（2022 年）6 月にＤＸ推進のための産学官金の情報共有・共創の場創出等を目的に「くまもとＤＸ推進コンソーシアム」が設立され、県全体としてＤＸを推進していますが、今後さらにＤＸを推し進めていくためには県内外から様々な知見の集積が必要です。特に、ブロックチェーン、ＮＦＴなど web3 先端技術は、ビジネスや行政へ活用の場面が広がりつつあり、従来のサービスや仕組みを大きく変革し、これまでとは異なる地域課題の解決方法を生み出す可能性があります。熊本県においてもこれらの先端的デジタル技術についての知見の蓄積と活用の模索への参考を目的とし、web3 先端技術を用いた実証事業に取組んでいます。

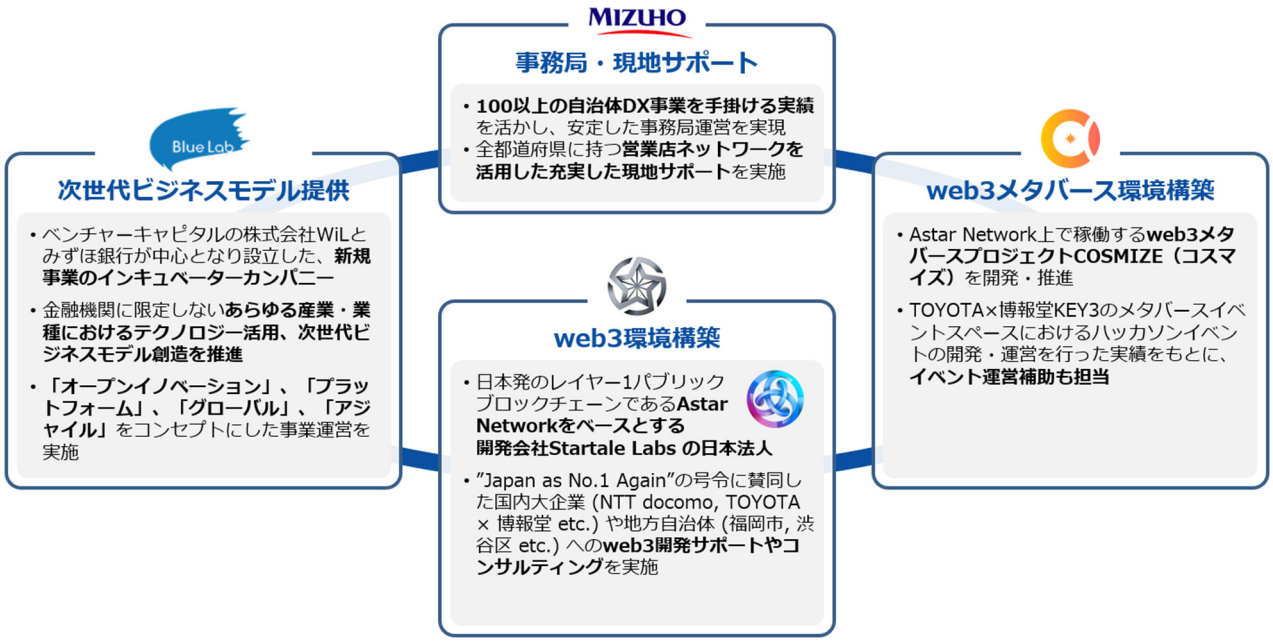
COSMIZE、Startale Labs Japan、みずほ銀行、Blue Lab は実証事業の 1 つとして、「ＮＦＴ・メタバース を活用した球磨焼酎のブランド力向上」を推進し、球磨焼酎のブランド認知拡大、関係人口増加に向けて取組みます（以下、本実証事業）。

■実証事業の概要

本実証事業では、熊本県の抱える課題の一つである県産品のブランド化の解決に取組みます。具体的には、県産品の一つである球磨焼酎のブランド認知拡大並びに関係人口の増加に向けて NFT の発行、各種イベントを実施します。球磨焼酎・web3 に関心のある生活者に対し「ベース NFT」を発行した後、球磨焼酎に関する情報発信等、球磨焼酎のブランド力向上に資する貢献活動を行った場合に、活動履歴を証明する「パーツ NFT」を配布します。また、「ベース NFT」・「パーツ NFT」両保有者に対し、球磨焼酎の交換券、試飲会への参加券等の「特典」がある「真 NFT」を交付する仕組みを構築します。これら活動を通じ、球磨焼酎の認知拡大及び、モニターの方々による貢献活動の可視化を行うことで、球磨焼酎ブランド力の向上を目指します。さらに、メタバースを活用した熊本県主催イベントも開催し、焼酎に関心の薄い若年層など、新たなファンの獲得・関係人口創出も視野に入れて実証を行います。



本実証事業は、日本発のレイヤー1 パブリックブロックチェーンである Astar Network※2 上で稼働するメタバースプロジェクトを推進する COSMIZE、Astar Network をベースとする開発会社 Startale Labs の日本子会社 Startale Labs Japan、100 以上の自治体 DX 事業を手掛けるみずほ銀行、多様な先進技術を活用し次世代のビジネスモデル創造・事業化を目指す Blue Lab が連携し、推進します。



■本実証事業における各社の役割について

本実証事業では、NFT の発行やメタバースを活用したイベントを実施する予定です。効果的な実証事業の実施に向け、以下役割のもと推進します。

COSMIZE	メタバース空間、NFT の作成及び発行における技術支援等
Startale Labs Japan	ブロックチェーン、NFT における総合的な技術支援等

みずほ銀行	実証事業全体推進、球磨焼酎に関する情報提供、イベント企画・実施・周知（イベント主催者は熊本県）等
Blue Lab	NFT 発行（発行者は熊本県）、NFT 保有者向けの球磨焼酎に関する特典付与等

今後、球磨焼酎を製造する地場企業とも連携し、本実証事業を推進していく予定です。

※1 球磨焼酎について

「球磨焼酎」は、日本に 4 つしかない産地呼称が認められた本格焼酎のブランドのひとつであり、500 年の歴史を誇る日本有数の米焼酎です。人吉球磨地域に蔵をかまえる 27 の蔵元にて製造されており、200 以上のブランドが球磨焼酎として販売されています。

※2 Astar Network について

Astar Network は、スマートコントラクトのハブとなる分散型アプリケーション（dApps）のプラットフォームであり、日本初・発のパブリックブロックチェーンです。Ethereum や Polygon 互換のアプリケーションに対応し、web3 の最先端ツールやプロジェクトを備えています。Astar 独自の Build2Earn プログラムでは、ステーキング報酬の一部が開発者に分配されることで、dApps 開発に集中して取り組める環境を整備しています。

【COSMIZE について】

COSMIZE は"A place for connecting your passion”をビジョンとしている Astar Network 上で開発されたメタバースプロジェクトです。8 年以上 XR 領域で開発・ビジネス経験があるチームメンバーにより運営されています。

COSMIZE はこれまでに、Astar エコシステムを中心に 20 近くのプロジェクトとパートナーシップを締結し、 トヨタ自動車株式会社やソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社などの企業との取り組みもさせていただいております。

【Startale Labs Japan について】

Startale Labs は Web3 が当たり前に使われている社会を見据え、その実現に向けた重要基幹インフラや dApps を開発しています。日本初・発のパブリックブロックチェーンである Astar Network を開発してきた知見や実績をもとに研究開発等を行っています。また、日本に子会社である Startale Labs Japan を 2023 年 1 月 31 日に設立し、日本での Web3 事業開発と事業コンサルティングを展開しています。2023 年 6 月にはソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社と資本提携を実施しました。

【みずほ銀行について】
みずほ銀行は、国内最大級の顧客基盤、国内外の拠点ネットワークや高度なサービス提供力を有するリーディングバンクです。みずほ銀行は、コロナ禍を契機として加速する DX の潮流において、社会/お客さまの多様な課題解決に向けた金融・非金融両面からのソリューションを提供しています。DX のドライバーとなりうる web3 領域においても地方自治体との連携を通じ、社会やお客さまの課題やニーズを学び、グループの強みを生かした〈みずほ〉ならではのソリューションを探求していきます。

【Blue Lab について】
Blue Lab は、2017 年 6 月に、ベンチャーキャピタルの株式会社 WiL と株式会社みずほ銀行が中心となり設立した、新規事業のインキュベーターカンパニーです。先進技術の社会実装を通じ、地域活性化や社会的課題の解決を目指すことにより、新たな社会生活における新しいビジネスのあり方を創造していきます。

以　上